

城南家保ニュース Vol. 19-13

熊本県城南家畜保健衛生所 平成19年 9月 発行



<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/jounan/jounan-index.htm>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617

研修会、講習会の開催について！！

1 平成19年度熊本県鶏病技術研修会

平成19年8月24日 鶏病研究会熊本県支部が主催し、熊本県との共催のもと熊本県中央家畜保健衛生所（下益城郡城南町）において平成19年度熊本県鶏病技術研修会が開催され、県内家畜保健衛生所及び化学及血清療法研究所から計6題が発表されました。



城南家畜保健衛生所からは防疫課の吉海哲夫 技師が「野生のクマタカから検出された鳥インフルエンザウイルスをめぐり防疫対応」と題し、防疫対応の内容、今後の取り組みについて発表しました。

<その他の提供話題など>

- 1 「大規模うずら農家の飼養実態調査」
熊本県城北家畜保健衛生所 清水 隆夫
- 2 「鶏自衛防疫協議会設立後における防疫体制の検証」
熊本県天草家畜保健衛生所 前淵 耕平
- 3 「2005～2007年に九州三県の鶏伝染性喉頭気管炎（ILT）発症鶏から分離されたILTウイルスの性状」
財団法人 化学及血清療法研究所 山崎 憲一
- 4 「採卵鶏農場の幼雛に発生した *Salmonella* Enteritidis 感染症」
熊本県中央家畜保健衛生所 生方 恵子
- 5 「ブロイラー農場で発生した鶏大腸菌症」
熊本県阿蘇家畜保健衛生所 遠藤 直子

発表終了後、宮崎県宮崎家畜保健衛生所 後藤 俊郎 先生を講師に迎え、「宮崎県における高病原性鳥インフルエンザの発生について」と題し、特別講演が行われました。

2 平成19年度獣医師研修会を開催しました。

平成19年8月30日、熊本県城南家畜保健衛生所及び熊本県城南地区家畜自衛防疫促進協議会の共催で、管内獣医師を対象に研修会を開催しました。

家畜保健衛生所からは、最近の家畜衛生状況、病性鑑定実施状況及び平成18年度県内で多発した「アカバネウイルスが関与した牛の脳脊髄炎の多発事例」を紹介しました。

また、城南地区家畜自衛防疫促進協議会事務局からは、平成19年度の牛異常産のワクチン接種状況等について説明しました。

最後に、財団法人 化学及血清療法研究所 第二製造部第一課の宮原徳治 先生を講師にお招きし、「ワクチン接種時の注意点」と題し、特別講演が行われました。

出席した獣医師の先生方は、熱心にメモをとられ、活発な意見交換が行われました。当所では、今後も引き続き獣医師の先生方への情報提供に努めたいと考えています。



<研修会の内容>

- 1 最近の家畜衛生状況について
 - ①管内監視伝染病の発生状況
 - ②病性鑑定実施状況
 - ③アカバネウイルスが関与した牛の脳脊髄炎の多発事例
 - ④ヨーネ病防疫対策
 - ⑤オーエスキー病防疫対策
 - ⑥高病原性鳥インフルエンザ対策実施状況
- 2 病性鑑定事例報告
「TMR飼料が原因と考えられた乳用牛のボツリヌス症」
(鹿児島県での事例)
- 3 家畜自衛防疫事業の推進について
- 4 特別講演
演題 『ワクチン接種時の注意点について』
講師 財団法人 化学及血清療法研究所 宮原 徳治 先生